

キーワードは「住民自治」

自治基本条例の制定や(仮称)地域まちづくり推進条例の制定、デマンド型交通システム実証実験、そして社会資本マネジメント推進事業には、「自治体と住民の関係を再構築する」という意識に基づいた取組みが必要だと考えています。キーワードは「住民自治」です。**住民の手でまちづくりを進めるための手段、ルールを行政がつくり、住民が自ら積極的に地域の特色に合わせたまちづくりをしていくという共通の理念に基づいて進めることで効果的な事業になる**と考え、取組み状況や事業を進める上での考え方について質疑を行いました。

例えば、社会資本マネジメントを進める場合も、その地域施設は本当に必要なのか、その場所に、その規模が適当なのか等を住民参加で公共施設のあり方を考えることや、公共交通についても、地域住民が運営主体となってデマンドバス事業を行うなどといった他市の事例もあります。それには「お任せ民主主義」から脱して**自治体と住民の関係を再構築する**という意識に基づいた「参加型民主主義の新たな取組み」が必要です。「自治基本条例」などはまさに「参加型民主主義の新たな取組み」といえますが、川越市では全庁的な職員の意識づけが図れておらず、何のための取組みかという共通認識もこれからつくっていかうという段階です。

25年度予算案に付帯決議をつけ採択

3月議会の総務常任委員会では、本委員会が所管する部署の事業に対する予算案について審議しました。予算審議の中で、自治会集会所建設補助事業について、1ヶ所の自治会集会所建設計画が、現在都市公園として使用している土地の一部に建設を予定していることが明らかになりました。

自治会集会所建設補助事業とは、コミュニティ活動に大きな役割を果たす自治会集会所施設の新築に対して補助金を交付する事業です。

私は、都市公園用地を別の用途で使用することは、本来の趣旨からも馴染まず、川越市内の公園面積が少ない現状を考えると、**再検討の必要性を感じ動議を提議し、総務常任委員会として再検討を要請する付帯決議の採択を求めました。**

委員会では全会一致で採択され、その後の本会議でも付帯決議の付いた予算案が賛成多数で可決されました。

市政についてや環境問題 これってな～に？ わかりやすく教えて？ にお答えします！



〒 350-8601 川越市元町1-3-1
川越市役所6F 無所属議員控え室
TEL 080-3025-5776
FAX 049-227-3810
E-mail mail@kawaguchi-keisuke.net

中央値を使い、実態に即したデータを！ 川口の3月議会一般質問より

統計データの中心を表す値としては、よく用いられる「平均」以外にも「中央値」「最頻値」があります。中央値とは、データを小さいものから大きい順に並べたときに真ん中に位置する値で、今回は市でもこの中央値の考え方を取り入れるべきと提言しました。

例えば、10世帯の平均所得を調べる時、5世帯が400万円、5世帯が500万円なら平均値も中央値も450万円です。9世帯が200万円、1世帯が2700万円でも平均値は450万円ですが、中央値では200万円になります。

ここで重要なのが所得を調べた目的です。もし10世帯の住人がおおよそどのくらいの年収であるかを掴みたいのであれば、平均値より中央値の方が実態を表すには適しているといえます。

中央値について、データ量が多いと並び替えが困難であるとの答弁もありましたが、コンピューター化が進んだ現代において、このデメリットはほぼ解消されたといえます。

中央値の掲載ゼロ！



中央値は1つの突出した数値に左右されず、外れ値を含む経済統計では、データの特性をつかみやすい値ですが、**川越市では数ある統計資料の中に一つとして中央値の掲載はありませんでした。**環境調査や施設の利用状況調査などでは、中央値を使うことは有効であり、他市の例を示し、平均値と併記する方法もあると提案し、**実態に即した数値の示し方を意識すべきと、考え方の転換を求めました。**

答弁では、中央値の方が実態に即している場合があると認め、平均値と中央値を併記するよう統計資料の作成に努めるとの答えでした。



データを分析→政策に反映！
統計データから何を読み解くかが重要！